福島市「街ぐるみ」創業支援

ふくしまるっと創業ストーリー

sourire339(菓子製造業)

なかざわ　みさき
中澤　美咲さん

創業時期：令和３年１２月

～ 地域と、人と、“繋がる”～

創業しようと思ったきっかけを教えてください

幼少期から両親がラーメン店を経営している姿を見て育ち、憧れがあったことから調理師免許が取れる高校へ進学しました。その後、両親の店舗の隣で食後に楽しめるカフェを開きたいと考えるようになり、仙台の製菓専門学校で専門知識を習得しました。

卒業後は福島市内のケーキ店で5年間製菓の仕事に携わりました。多種多様なケーキ作りの経験を通じて身についた技術が、現在のエクレア作りの技術にも活かされていると思います。

お菓子の中でもなぜ”エクレア”に？

最初はケーキ店をオープンしようと思っていましたが、当時両親は土湯温泉街に出店していたため、持ち運びしやすく、足湯に浸かりながら食べられるスイーツが良いと考えました。また、福島県内にエクレア専門店がなかったことも理由の一つです。ドーナツやワッフルも候補にありましたが、競合相手がおらず、独自性をアピールできる点でエクレアを選びました。エクレア専門店が珍しいということと、新聞チラシやInstagramでの告知の効果もあって、オープン1年目は予想を上回る反響をいただき、多くのお客さまにご来店いただきました。

エクレア専門店としてのこだわりはありますか？

エクレアの材料について、旬のフルーツは基本的に県内産の新鮮で美味しいフルーツを直接仕入れています。生地には国産小麦を使用し、皮はあえて厚めで硬めに焼き上げています。フルーツを乗せた際に皮がつぶれてしまうことを防ぎ、焼きたてのパリパリ感と、クリームの水分と一体化したもちもち感の両方を楽しんでいただくためです。

また、オープン当初は月6種類ほどのエクレアを店頭に並べていましたが、専門店として豊富なバリエーションを提供したいと思い、現在は9～10種類を提供しています。新作を考える際は従業員や家族の意見、市場の動向にも常にアンテナを張り、試作を重ねています。年間で20種類以上の新作エクレアを開発し、お客さまが箱を開けた瞬間に笑顔になるような、彩り豊かなラインナップを心掛けています。甘いものが苦手な方でも楽しめるよう、「次の1本に手が伸びる、甘さ控えめで重くないエクレア」を意識して作っています。

店舗情報

名称：sourire339
住所：福島市上鳥渡字土手内31-2
電話番号：024-563-7205
Instagram：@sourire339　X(旧Twitter)：@sourire3390214
営業時間：10：00～18：00(商品無くなり次第終了)
熟成日(定休日)：木曜日、第１・３金曜日(変動有)

お店を経営するうえで大切にしていることはありますか？

地域の活性化に貢献することを意識して経営しています。遠くから来店されるお客さまにも「この地域にこんなに美味しいものがあるんだな」ということを知ってもらいたいので、できるだけ近隣の農家さんからフルーツを仕入れています。市場に出回らない規格外品についても、農家さんが丹精込めて育てた美味しいフルーツなので、ぜひ味わってほしいという思いからエクレアに活用したり、店頭で販売したりしています。オープン前には、近くにあるカフェオーナーからイベント出店のお誘いをいただき、商品のPRをさせていただいたこともありました。このご縁は現在も続き、毎年開催されるXmasマーケットにも出店させていただいています。地域の方々と繋がり、この地域全体を皆さんとともに盛り上げていきたいと考えています。

また、お客さまファーストの精神も大切にしています。オープン当初は店頭販売のみでしたが、「在庫状況が分からない」というお客さまの声を受け、InstagramやX（旧Twitter）で商品情報を発信し、予約や取り置きできるようにしました。また、自然が豊かな地域なので、お子さま連れのお客さまでも目の前の吾妻山の景色を楽しみながらエクレアを味わえるよう、市の周遊スポット補助金を活用してベンチブランコを設置しました。

計画どおりオープンできましたか？

すべてが計画どおりではなく、想定外のトラブルもありました。特に大変だったことは、オープン時期とコロナ禍やウクライナ問題が重なり、オープン直前になって冷蔵庫の納品が遅延したことです。冷蔵庫なしでの営業は不可能だったので、食材の再発注やチラシの修正が必要になるところでした。しかし、最初の3～4ヶ月間はリース品を活用するという対策を講じ、無事に予定どおりオープンすることができました。今振り返れば、この大変な経験も良い思い出です。

創業を目指す方へ

創業には事前の情報収集が不可欠です。私は両親や以前の職場の社長、同業者の友人などに相談し、機材や営業計画について情報を集めました。特に同業者からの実体験に基づいたアドバイスはとても参考になります。

また、「誰をターゲットに、何をしたいのか」を具体的にイメージすることも大切です。事業のコンセプトを明確にすることで、開業準備を進めやすくなります。

そして、家族の理解と周囲の協力も欠かせません。一人で抱え込まず、周囲の助けを借りながら、無理なく進めることが成功への鍵です。スタッフや家族など、支えてくれる人々への感謝を忘れずに頑張ってほしいと思います。

中澤さんの“創業フレーズ”

- ＃専門店の意識
- ＃周囲の協力
- ＃地域を盛り上げる
- ＃コンセプト

中澤さんが活用した創業支援

（福島県）
創業補助金

（福島銀行）
融資

福島銀行　瀧口 さんより
長年の夢実現のお手伝いができたことを大変嬉しく思っております。今後も沢山のお客様へおいしいエクレアを届けてください！引き続きご支援ができれば幸いです。

（日本政策金融公庫）
融資

（福島市）
創業応援利子補給事業補助金

（福島市）
周遊スポット魅力アップ支援補助金
└令和４年度事業終了

《編集》福島市 産業雇用政策課 創業推進係
電話　０２４－５２５－７６５８

福島市創業支援情報はこちら（市公式HP）→